

創立70周年企業紹介



取締役会長 山松健一氏

東和化工株式会社

創 立 ● 昭和27年12月

代 表 者 ● 代表取締役社長 山松博一

事業内容 ● プラスチックフィルム(PE、PS、PET、NYLON等)及び加工紙の製造、販売。太陽光発電所

【本 社】

東京都千代田区九段南4丁目3番4号
大江ビル3階 TEL.03-3238-0120

【三重工場】

津市戸木町4629番地5
TEL.059-255-0811

これまでの歩みと経歴

昭和27年12月	資本金400万円をもって会社設立。本社を東京、営業所を東京、大阪、工場を三重県久居市に開設
昭和37年11月	資本金を1,900万円に増資
昭和38年9月	ポリエチレンフィルム、押出ラミ、印刷生産開始
昭和41年8月	資本金を4,900万円に増資
昭和56年5月	ポリスチレンフィルム生産開始
昭和56年6月	久居市に第2工場新設、ドライラミ生産開始
昭和59年1月	クリーンフィルム工場新設、同フィルム生産開始
平成3年1月	一志郡美杉村に協力工場新設
平成3年7月	資本金を9,800万円に増資
平成5年3月	三重工場を戸木工場に全面移転、生産設備増強
平成13年3月	山松健一が代表取締役社長に就任。山松正和は相談役に
平成14年12月	ISO9001取得
平成18年5月	ISO14001取得
平成23年1月	三重工場に実験用太陽光発電を導入
平成26年1月	三重工場に太陽光発電所を新設
平成29年1月	東京中小企業投資育成株式会社を一部資本金の引受先とした
平成29年3月	山松博一が代表取締役社長に就任。山松健一は会長に
平成31年3月	全自動完全防虫クリーンフィルム倉庫完成

●我社の経営理念について

経営理念 包装資材と心のこもったサービスの提供を通じ
お客様との信頼を創出する
地域社会の発展に貢献するために
社員一人一人の幸せを実現する

弊社には設立時から先代社長が作った「社是」がありました。私が社長就任に当たり一番再構築したかったのがこの経営理念でした。

従来の社是は、作られた時代が昭和27年ですからその当時の戦争からの復興を掲げたことに対し相応しい

内容であったと思います。しかし平成13年当時の社内の雰囲気活性化させるために経営理念の再構築がどうしても必要でした。



三重工場(津市戸木町)

●弊社の事業内容について

ダイナマイトの包装紙の開発が昭和25年に成功した結果、この加工紙の事業化が進み昭和27年会社を設立しました。当初はこの特許を持つ「特化紙」だけの生産だけでしたが、数年後、合成樹脂が日本に輸入されたことにより弊社もポリエチレンフィルムの生産を開始しました。その後開発したポリスチレンのフィルムにより同フィルムが現在弊社の主力製品となっております。

●特に力を入れている商品について

最近になって開発した商品が、クリーンフィルムです。全国シェア30%を保持している非常にクリーンなポリエチレンフィルムです。主原材料の樹脂からクリーンな環境で作られており、加工製品でありますフィルムも弊



クリーンフィルムを含む弊社で製造されている商品

社のクリーン環境下で生産されており、どこの御家庭にでも手に触れられている商品です。このシェアを40%にすることです。

●今考えている事

私が社長交代した時が弊社にとって会社経営が傾いており、一番厳しい時でした。累積赤字をまず清算してとにかく3年以内に解消する計画を組み赤字を出さない経営を目指しました。ISOの取得、弊社の株主として投資育成会社を狙うこと等、いろいろな改革を行うことでした。

経営主体が殆どの会社で設立当初は、同族経営であり金融機関に対して信用度が低いことで借入利息率も高いことが経営を圧迫していると思います。その部分をまずやり直すということを主眼にあらゆることをやりました。成功するかどうかは、経営者のやる気しかないとしました。